

平成26年度

決算の お知らせ

当健康保険組合の平成26年度決算が
去る7月13日に開催された組合会に
おいて承認され、決定いたしました。

■経常収支は昨年度並みを確保

平成26年度の経常収支額は、昨年度並みの約20億円弱の黒字を確保しました。黒字額は全額別途積立金勘定の積み増しとなり、将来の医療給付・納付金等の備えになります。

保険料算出の基準となる総標準賞与額が前年度比ほぼ横ばいとなったこと、標準報酬月額が同約1万円増加したことなどから、経常収入は同約1億円増加しました。一方、高齢者医療制度に対する納付金が1.3億円増加しましたが、保険給付費が0.3億円減少したため、昨年度並みの黒字額となったものです。

■今後の見通し

健康保険連合会の報告によると、平成27年度の予算見込みでは、健保組合全体で1,492億円の経常赤字となっており、赤字組合は全組合の約7割となっています。赤字の主な原因は、高齢者医療制度への納付金です。

収入支出決算額

収入合計

105億1,500万円

支出合計

82億7,000万円

収入支出
差引額

22億4,500万円

●経常収支差引額 19億7,000万円

新聞報道等で既にご存知の方も多いかと思いますが、この納付金のうち、後期高齢者支援金の計算方法を、平成29年度にかけ段階的に総報酬割に変更することが決定され、健保組合の負担がさらに大きくなります。また、高齢化の進展に伴う納付金の増加もあり、納付金額が増加することは確実な状況です。

このような状況下、当健保の財政状況は、保険料率を変更した平成25年度初めから比べると大幅に改善しました。しかし、前述の通り納付金が継続的に増加する見通しであり、経済的な外部環境が変化すると将来的に経常黒字を維持することが難しくなるかもしれません。当健保では、引き続き財務の健全性に十分留意しながら運営に努めてまいります。

* 主な収入 *

●健康保険収入

被保険者のみなさまと事業主から納めていただいた保険料です。

●雑収入

積立金の利子、保養所の利用料収入などです。

* 主な支出 *

●事務費

当健保事務局の運営にかかわる諸経費と組合会関係費です。

●保険給付費

みなさまの医療費や各種給付金(出産、傷病等)のために支払った費用です。

●納付金

高齢者医療制度等に拠出するための支出です。65～

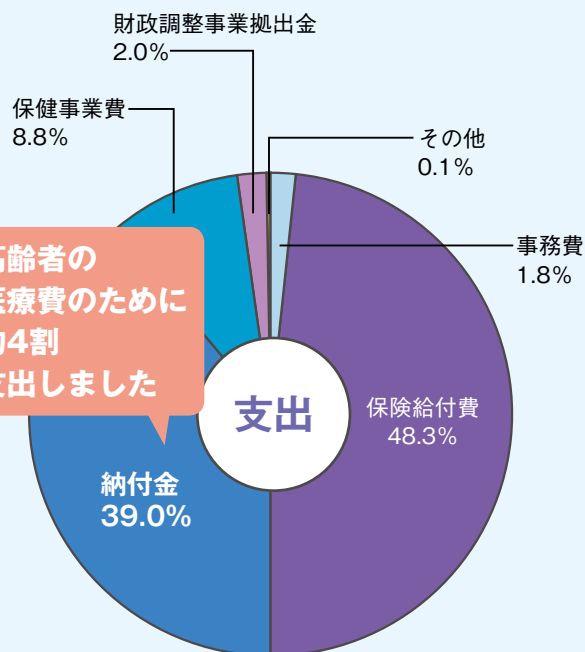
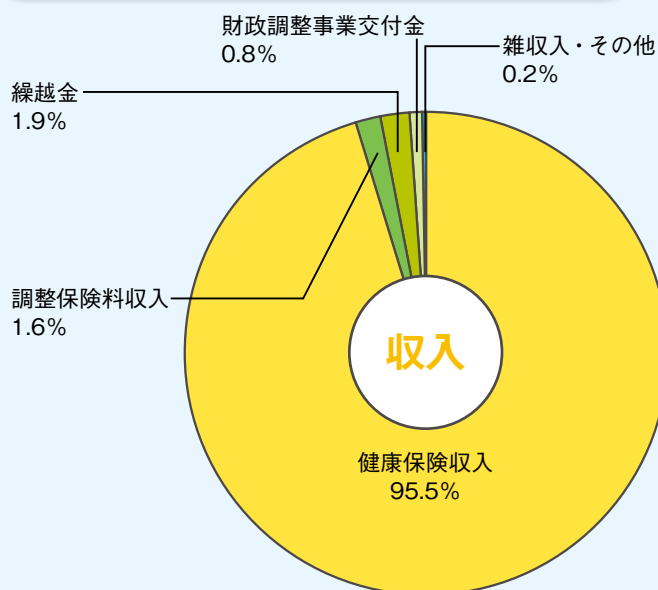
74歳までの前期高齢者の医療費を支える納付金と75歳以上が加入する後期高齢者医療制度への支援金からなります。

●保健事業費

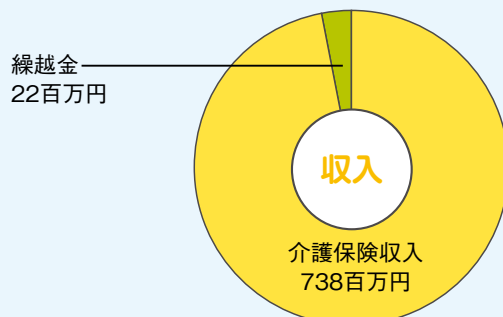
みなさまの健康づくりを支援するための費用です。特定健診・人間ドック、特定保健指導等の費用です。



一般勘定 平成26年度収入支出決算



介護勘定 平成26年度収入支出決算



収入合計 760百万円

支出合計 609百万円

収入支出
差引額 151百万円

* 一般勘定 * 平成26年度収入支出決算

収入

(単位：百万円)

科 目	平成26年度 決算額	平成25年度 決算額
健 康 保 険 収 入	10,043	9,957
調 整 保 険 料 収 入	168	158
繰 越 金	195	55
財政調整事業交付金	79	90
雑 収 入・そ の 他	30	31
収 入 合 計	10,515	10,291

支出

(単位：百万円)

科 目	平成26年度 決算額	平成25年度 決算額
事 務 費	145	164
保 険 給 付 費	3,996	4,028
納 付 金	3,224	3,089
保 健 事 業 費	730	718
財政調整事業拠出金	168	158
そ の 他	7	7
支 出 合 計	8,270	8,164

差引残金 2,245百万円